

# 盛岡市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

資料 1

## 基本目標1 全ての子どもが健やかに育つ環境づくり

No.	成果指標		実施施策名	主管課	計画策定時	H27実績値	H28実績値	31年度目標値	28年度の主な取り組み	成果が向上(低下)した要因	29年度の重点取組項目(事業)
1	待機児童数(1月1日現在)【人】	↓	(1)幼児期の教育・保育の充実	子育てあんしん課	259	285	218	0	認可保育所等の開設にあたり、施設の建築、改修の費用に対して補助を行った。	認可保育所等(11園)の開設により、定員の拡大が図られた。	認可保育所等の新設による定員拡大
2	放課後児童クラブを利用できなかった児童数【人】	↓	(2)放課後の子どもの居場所づくり	子育てあんしん課	40	43	31	0	既存の2クラブが新たにクラブを創設するにあたり、施設建築補助や開設支援補助を行った。	新たなクラブの創設により、定員の拡大が図られた。	クラブの新設等による定員拡大
3	放課後子供教室の実施箇所数【箇所】	→	(2)放課後の子どもの居場所づくり	生涯学習課	5	5	5	5	27年度と同様市内5教室にて実施した。また、放課後子どもだよりを発行し、各教室における活動の周知を行った。	現状の維持に努めた。	実施箇所数の現状維持に努める。
4	乳幼児総合診査から療育につながった子どもの割合【%】	↑	(3)障がいのある子どもへの支援の充実	母子健康課	96.3 (※平成25年度実績)	96.1	96.3	98.0	総合診査審査会を年12回、親子教室48回実施する中で、親の意向を確認しながら、必要な療育につなげた。	親の意向を確認しながら必要な療育につながるよう関係機関と連携を図ったことが、要因と考えられる。	療育を必要とする子が望ましい療育へつながるように、継続して関係機関と連携していく。
5	児童虐待相談が解決した割合【%】	↑	(4)児童虐待の防止	子ども青少年課	57.5 (※平成25年度実績)	21.7	33.5	65.0	個別面談や、電話での相談に対応するほか、虐待通告があった際には調査を行い、児童相談所等の関係機関と連携しながら指導・援助を実施した。	児童虐待だけではなく、経済的困窮や保護者の精神疾患など複合的な課題を抱えているケースが増えているため、解決が困難になってきていること。	関係機関との連携により児童虐待の早期発見、早期対応に努める。必要に応じて個別ケース検討会議を開催し、支援策等を検討する。
6	児童虐待の実相談件数【件】	→	(4)児童虐待の防止	子ども青少年課	178	337	395	178	虐待通告があった際には調査を行い、児童相談所等の関係機関と連携しながら指導・援助を実施した。	①家庭内に複合的な課題を抱えている世帯が増えていること。②報道等により地域における児童虐待防止への関心の高まりがあり、通告が増えていること。	地域住民や関係機関との連携により児童虐待の早期発見、早期対応に努める。

基本目標2 安心して産み、育てられる環境づくり

No.	成果指標		実施施策名	主管課	現状値 (27年度 計画策 定時)	H27実績 値	H28実績 値	31年度目 標値	28年度の主な取り組み	成果が向上(低下)した要因	29年度の重点取組項目(事業)
7	妊婦健康診査受診率【%】	↑	(1)母子保健の充実	母子健康課	95.8 (※平成25年度実績)	97	98.4	96.0	妊娠届出時に受診について説明し、週数にあわせての受診勧奨を行った。	週数に応じた細やかな受診勧奨を行ったことが、受診率の向上につながっているものと考え。	今年度も引き続き受診勧奨をする。
8	3歳児健康診査受診率【%】	↑	(1)母子保健の充実	母子健康課	85.9 (※平成25年度実績)	84.6	88	88.0	未受診者に対して受診勧奨はがきを送付。その後も未受診の場合は、保健師が電話や訪問で受診勧奨をした。	平日受診が難しい保護者に対しては、休日健診を勧めるなど、未受診勧奨を細やかにした。	一次健診(集団健診)受診率は100%であるので、保護者に対して二次健診(小児科診察)をきちんと受診するように意識づけをする。
9	乳児家庭全戸訪問事業における訪問割合【%】	↑	(1)母子保健の充実	母子健康課	45.6 (※平成25年度実績)	72.3	90.3	100.0	非常勤助産師や在宅訪問員及び地区担当保健師、子育て世代包括支援センター保健師等連携を取って訪問を実施した。	2,100件の訪問目標を掲げ、非常勤助産師の1名の欠員が続いたが、その他の訪問担当者で連携をとって実施した。	在宅訪問員の委託料が増額され、1名在宅訪問員を増やした。連携をとりながら100%の目標を目指す。
10	市民アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合【%】	↓	(2)子育て世帯への支援の充実	子ども青少年課	19.3	22	24	14.5	地域子育て支援センターやつどいの広場等により、育児不安の軽減を図るとともに、ファミリーサポートセンター事業により、地域における育児の相互援助活動の促進を図った。	子育て支援に対する市民ニーズの多様化や需要の拡大にサービスが応じきれないことや、核家族化の進行を背景とした子育ての孤立化が要因になっているものと考え。	引き続き、地域子育て支援センターやつどいの広場を運営するほか、ファミリーサポートセンター事業を実施するとともに、新たに、もりおか子育て応援プラザ(ma*mall)を開設する。
11	市民アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合【%】	↑	(2)子育て世帯への支援の充実	子ども青少年課	15.5	13.3	15.2	40.0	子育てに関する情報や遊び場の提供を通じ、子育て世帯の負担の軽減に努めた。課窓口や市ホームページにおいて、ニーズに応じた子育て支援情報の提供に努めた。子育て支援員研修を開催し、子育て支援人材の確保を図った。	子育て支援に対する市民ニーズの多様化や需要の拡大が背景になっているほか、市の施策が十分に市民に周知されていないことも一因となっているものと考え。	引き続き、地域子育て支援センターやつどいの広場を運営するほか、ファミリーサポートセンター事業を実施するとともに、新たに、もりおか子育て応援プラザ(ma*mall)を開設する。
12	市民アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合【%】	↑	(3)経済的負担軽減対策の充実	子ども青少年課	15.5	13.3	15.2	40.0	保育料の軽減に関し、国に基づき多子軽減に伴う多子計算の年齢制限を撤廃した(所得制限有)。	子育て支援に対する市民ニーズの多様化や需要の拡大が背景になっているほか、市の施策が十分に市民に周知されていないことも一因となっているものと考え。	幼児教育の段階的無償化を推進する。
13	就業支援事業により就業した母子家庭の割合【%】	↑	(4)ひとり親家庭等への支援の充実	子ども青少年課	79.5 (※平成25年度実績)	66.7	85.7	86.0	母子家庭等高等職業訓練促進給付金・自立支援教育訓練促進給付金、母子・父子自立支援プログラム策定事業等の周知を図った。	母子家庭等高等職業訓練促進給付金の支給対象期間延長後の修了者が就職したため。	母子家庭等高等職業訓練促進給付金の支給期間が1年多くなったことと、自立支援教育訓練給付金の支給割合が2割から6割に引き上げられたことなどの制度改正の周知を図る。

基本目標3 みんなで子ども・子育てを支える環境づくり

No.	成果指標	実施施策名	主管課	現状値 (27年度 計画策 定時)	H27実績 値	H28実績 値	31年度目 標値	28年度の主な取り組み	成果が向上(低下)した要因	29年度の重点取組項目(事業)
14	市民アンケート調査 「子育てをつらいと 感じている」と答えた 子どものいる親の割合 【%】	↓ (1)地域にお ける子ども・ 子育て支援 の促進	子ども 青少年 課	19.3	22	24	14.5	公共施設や商業施設等に授乳やおむつ交換 などで立ち寄ることができる「赤ちゃんの駅」を 設置するとともに、子ども未来基金を創設し、市 民・団体が行う子育て支援の取組の促進を 図った。	子育て支援に対する市民ニーズの多 様化や需要の拡大にサービスが応じ きれていないことや、核家族化の進行 を背景とした子育ての孤立化が要因 になっているものと考ええる。	子ども未来基金の周知を強化し、 市民・団体等による子育て支援の取 組を促進する。
15	くるみんマーク認定 企業数【社】	↑ (2)仕事と家 庭の両立支 援	厚生労 働省 岩手労 働局	10	12	12	20	民間企業の経営者・人事担当者を対象とした ワーク・ライフ・バランスに係る講座の開催や、 優れた取組を行った企業の表彰など民間 企業がワークライフバランスに取り組むことが できる環境づくりを推進した。	徐々にではあるが、ワーク・ライフ・バラ ンスに関する意識が高まってきてい る。	実際に取組を行い成果を上げてい る企業の事例について情報を共有す る機会を提供するなど、カリキュラム 内容の見直し等を検討する。
16	待機児童数(1月1 日現在)【人】	↓ (2)仕事と家 庭の両立支 援	子育て あんし ん課	259	285	218	0	認可保育所等の開設にあたり、施設の建築、 改修の費用に対して補助を行った。	認可保育所等(11園)の開設により、 定員の拡大が図られた。	認可保育所等の新設による定員拡 大
17	市民アンケート調査 「子育てをつらいと 感じている」と答えた 子どものいる親の割合 【%】	↓ (3)子育てを 応援する仕 組みづくり	子ども 青少年 課	19.3	22	24	14.5	子育て中の世帯を対象に、もりおか子育て応 援パスポートの発行を行った。	子育て支援に対する市民ニーズの多 様化や需要の拡大にサービスが応じ きれていないことや、核家族化の進行 を背景とした子育ての孤立化が要因 になっているものと考ええる。	協賛店の拡大や、協賛店・サービ ス内容等の情報提供の充実に努める。 また、子ども未来基金への寄付を募 り、社会全体で子育てを支える機運 の醸成を図る。
18	市民アンケート調査 「盛岡市の子育て支 援策・支援活動が充 実していると感じる」 と答えた市民の割合 【%】	↑ (3)子育てを 応援する仕 組みづくり	子ども 青少年 課	15.5	13.3	15.2	40.0	子育て中の世帯を対象に、もりおか子育て応 援パスポートの発行を行った。	子育て支援に対する市民ニーズの 多様化や需要の拡大が背景になって いるほか、市の施策が十分に市民に 周知されていないことも一因となっ ているものと考ええる。	協賛店の拡大や、協賛店・サービ ス内容等の情報提供の充実に努める。 また、子ども未来基金への寄付を募 り、社会全体で子育てを支える機運 の醸成を図る。